

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりに応じたプログラムをそれぞれの職員の持ち味のもと、立案考案しながら、職員間でも一人ひとりの課題を把握し、同じ意識で支援にあたっています。	常日頃から利用者の情報共有を行い、話し合う場を作りながら、個々に合わせた活動で、今、利用者が必要なこと、興味のあることを行えるようにしています。	引き続き、職員間での利用者の様子の共有、保護者とのやり取りの内容を活発に話し合えるよう会議の場を設けていきます。
2	イベントを通し、季節によって戸外での活動や異年齢での交流する機会を設けています。	定期的に開催し、異年齢でのやり取りや関わりを学びながらも、個別では見えない利用者の姿を把握し次の課題を見据えています。	イベントや小集団活動の頻度を増やし、積極的な参加を促していきます。また、集団での様子を保護者の方に伝えることで、課題の把握と成長の様子を共有できるようにしていきます。
3	座学からちょっとした運動まで行える環境となっており、バリエーションにとんだ、個々に応じた環境調整をしています。	パーテーションで室内を区切り、集中できる環境を整えたり、動くときには机等の配置を変えて、広い空間を保持できるよう環境を整えています。	片付けや、用具の選定などを行い、必要なもの、不要なものを常に見定めながら整理整頓を行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との交流が難しく、どうしたら交流ができるを模索中です。	SNSやパンフレットを通して、地域の方々への周知を行うが、交流できるイベント等を開催したことがないので、交流する機会がない状況です。	イベント内容を検討し、地域の皆さんにも参加いただける内容のイベント開催を企画していきたいと思います。
2	個別支援が基礎となるため年齢によって集団活動を取り入れることができておらず、集団活動への課題を持っている利用者への適切なアプローチの難しさがあります。	個別支援に重きを置いていることや送迎が保護者メインとなるため、利用時間に差ができ、同年代での集まる場を設けることの難しさがあります。	イベントや同年代での小集団活動の頻度を増やしつつ、内容も年齢や利用者のねらいに応じて取り組んでいきたいと思います。
3	現在たくさんの利用者に利用いただいており、土曜日などの特定の曜日によってはご予約が取りづらくなってしまう時間帯もございます。	たくさんの利用者にご契約をいただき、皆様に使っていただいております。そのため、希望する時間帯や曜日が偏ってしまう現状があります。	本当に必要な支援を利用者、保護者とともに考え、課題を把握し、次のステップに進めるよう、支援内容等を話し合っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校		公表日			2026 年 2 月 15日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動や利用者に合わせて必要なスペースの確保をそれぞれの職員がコミュニケーションを図りながらおこなっている。	限られたスペースの中で、利用者の組み合わせによっては制限がかかってしまうこともある。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		職員の状況に応じて利用定員を予約の段階で制限かけることもできるので、職員やこどもの状況に合わせておこなっている。	利用の予約方法について平等になるように周知を工夫していく。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活空間がわかりやすいよう、案内をしたり、職員が前に立ち迷わないようにしている。	建物の構造上バリアフリーなどは難しさがあるが、階段には手すりをつけ、安全に過ごせるようにしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用者のいない時間に掃除を行い、キレイに保てるようにしている。	利用者が常にいる状況の長期休み期間などは掃除がしにくいこともある。掃除の仕方に工夫していく。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、クールダウンできる環境を整えながら、安全に配慮している。	別室や別空間はその時の利用状況によってとなるため、使えないこともある。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に業務の見直しを行いながら、業務改善に努めている。	職員それぞれの請け負う仕事量、キャパシティーによるため、常に職員の状況把握が難しい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表よりいただいた意見から改善できる部分などを話し合う。幸い、うれしい言葉を多くいただいた。	駐車場や階段の急な角度などは安全に配慮していく。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1on1や会議等で出た意見に対して、適宜話し合いの場を設けていく。	会議の場などで言えない職員への配慮の方法を探していく。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価を受けたことはないが、社内で監査等で業務についてのアドバイスをいただいている。	必要に応じて第三者による外部評価も検討していく。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な社内研修に加えて、外部兼研修もそれぞれが受講できるようにしている。	職員配置や状況によって外部研修に参加できないこともあるので、今後整えていきたい。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの公表を適切に行っている。	支援プログラムが固定化しないようにしている。適宜、固定化されたことにより安心感を感じられる利用者などに配慮していく			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者に来所いただきモニタリングを設け、アセスメントを適切に行いながら、課題やニーズにこたえられるようにしている	週6営業のシフト制勤務により日程調整が難しい場合がある。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議を始め、モニタリング作成前に支援をしている職員から様子を伺うなど、 全員で利用児に関わるすべてのことを把握できるよう努めている。	週6営業のシフト制勤務により日程調整が難しい場合がある。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を立て、会議をおこない、関係機関連携などでの情報を常に共有できるようにしている。	口頭で伝えきれない部分はガルーンなどの社内コミュニティを使っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント表を基に日々の行動観察を行い、状況確認をしている。	特にないと思っている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って計画を作成し、ねらい及び支援内容を踏まえてプログラムを作成している。また、ガイドラインに沿った計画の中でも、利用者のニーズや課題に応えられるよう支援内容を設定している。	特にないと思っている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		それぞれがプログラムを立てるにあたって、話し合ったり、現状の利用者の情報共有を行い進めている。	全員で話し合う場を定期的には設けることの難しさがある。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		担当制ではないため、固定化されることなく、支援を行っている。	ニーズや状況が変わる中での適宜対応していくことの難しさがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者のニーズによって、個別活動と小集団活動の組み合わせを行いながら、活動している。	定期的に小集団活動を取り入れていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	利用者の状況によってになるが、支援や役割などについて確認し進めている。	支援前に行くことは日によって(特に長期休みや土曜日)難しいことも多いが、空いている時間で確認を進めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	翌日や社内チャットなどを活用し、情報共有振り返りを行い、全職員が把握できるよう努めている。	支援前に行くことは日によって(特に平日)難しいことも多いが、空いている時間で確認を進めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録漏れがないよう、確認し、支援の検証、改善につながるよう職員間で読むことを進めている。	記録の記入漏れの点検を月一で行っている。会社内部的に3日以内を守れるよう声かけを徹底している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画更新月を随時確認しながら漏れがないよう、保護者との連携を図り、適切に見直しができるようにしている。	週6営業のシフト制勤務により日程調整が難しい場合がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を組み合わせ支援を遂行できるようプログラムを作成し、支援を進めている。	4つの基本活動の中の地域交流の機会の提供については取り入れ方を今後も考慮していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援プログラムの中でも、自己決定ができるようプログラムを組み立てながら、必要に応じて、支援を工夫している。	自己決定する事への苦手さが見られる利用者へは小さいことから自分で決めて行うことに慣れていけるよう取り組んでいく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児発管が参加させていただき、必要に応じて、指導員または管理者も参加している。	週6営業のシフト制勤務により日程調整が難しい場合があるが、行ける職員で参加できるようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて学校との連携を図ったり、各相談支援事業の相談員との情報共有を進めている。	学校との連携をもっと図れるよう関係づくりを進めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者や学校からの要望や予約調整の兼ね合いで、学校行事等の情報共有も随時行っている。	引き続き、学校の情報を保護者様より教えていただきながら、振替提案や学校での様子などを進めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、担当者会議等に参加し、情報共有を行っている。	相談員さんとの連携を密に図り、進めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		まだ実績がなく、わかりかねる部分はあるが、今後必要に応じて対応していく。	実績はないものの、必要に応じて、保護者との連携、障がい福祉サービス事業所への対応を進めていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターの研修を積極的に参加しながら、併用児の情報共有なども進めている。	引き続き、児童発達支援センターとの関係性を良好なものにし、情報共有や助言、研修を積極的に受けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	放課後等児童クラブや児童館との交流は現在行っていない。	必要に応じて、今後考慮していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者または児発管どちらかが参加できるように努めている。	管理者・児発管が分かれていることで、日程などは合わせやすく、どちらかが参加し、情報共有もできている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックの機会や送迎の際に、利用者の状況、課題などは常に共通理解できるよう努めている。	保護者への理解を促すためにも職員間で共有していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングの開催で多くの保護者へ参加していただいた。	引き続きペアレントトレーニングの開催を進めていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧にかつ分かりやすく説明をできるように心掛けている。	わからないところはないかななどを都度確認しながら、理解できているかを確認し進めている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援内容について、理解を求めつつ、深められるよう、丁寧な説明やフィードバックに努め、家族の意向を確認している。	家族、利用者の意向の把握の難しさや保護者と利用者の意向の相違などがないか丁寧に聞き取りをしていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリングを経て、計画の内容を更新の際に丁寧に伝え、支援の意図への相違がないかを確認している。	引き続き丁寧なモニタリングを心掛け、計画への理解を深めていきたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバックや必要に応じて、面談などの機会を設け、適宜相談等に対応している。	家族支援の周知に力を入れていきたい。また、相談してよかったと思えるよう、知識を常にブラッシュアップさせていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		ペアレントトレーニングの開催で多くの保護者へ参加していただいた。	定期的な保護者向けイベントを企画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いただいた内容について、迅速に職員間で対応、共有しながら進め、うやむやにせず、解決策を講じている。	大きい苦情等は今までないので、引き続き、気を引き締めて、どの保護者利用者とも関わっていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信やSNSへの投稿などを定期的にアップを行い、イベント内容や活動の概要の周知などをおこなっている。	SNSを活用した連絡方法や電話などの連絡網を活用し連絡体制を引き続き整えていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関わる書類等は十分に配慮し、カギ付き金庫に保管し丁寧に扱っている。	引き続き、個人情報の漏洩等がないよう、職員間でも共有認識のもと、意識確認を行っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚提示や相違ないかの確認のためのSNS活用などをして、情報伝達に配慮している。	来所時の確認やLINEや通信、事業所掲示などで、お知らせを行いながら、伝達漏れがないよう引き続き行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	SNSやパンフレットの配布、営業活動などを通して、地域の方々に事業所の存在を知っていただいている。	地域住民の招待などはできていないので、今後適宜、相談し行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		さまざまなマニュアルの策定とともに、月に1度いろいろな災害を想定した訓練を利用者とともに行っている。	訓練の実施を通信などで周知しているが、まだ知らない家庭もあるため、引き続き訓練の状況などを知らせていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定と発生備えた研修・訓練を定期的に行い、職員間での周知徹底を図っている。	避難・救出・その他必要な訓練を随時行っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に、服薬等の確認を行っている。	常に起こりうる可能性を想定し、起こった場合の対応を職員が把握できるよう周知していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前にアレルギーの確認を保護者に行っている。おやつ提供の際には含まれるアレルゲンの確認把握に努めている。	提供することは少ないが、事前の確認やアレルゲン情報などは職員全員で周知していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員への周知、研修への参加をしながら訓練を行っている。	定期的に研修・訓練への参加を全員でできるようにしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に安全確保について説明をしている。	安全確保について職員も保護者同様把握しながら、守れるよう努めていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発声した際には再発防止に向けて、フォーマットに記入し、全体周知を徹底している。	事前に起きないように想定しながらも、起きた際には迅速に全体把握ができるようにしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修に参加し、適切な対応ができるよう努めている。	職員間でも周知を徹底していきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束についてのお知らせと、保護者の同意を得て、計画に記載し、周知している。	身体拘束の定義を定期的に見直し、確認していきたい。

		公表日				2020年2月15日											
事業所名		北上市野町校				利用児童数				43				回収数: 32			
		チェック項目				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	ご意見				ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。				26	4	2	0	その日の内容によりますが、元気に体を動かすことを考えると、お部屋が少し狭いのかな？と感じることもありましたが、広すぎて良くないかもしれません。限られたスペースだからこそ良いのかもかもしれません。一つの部屋を2つに区切ってる時は隣が気になる時がある。基本は個室利用ですがイベントの際は一階全体を使ってるなど、スペースは確保されていると思います。				限られたスペースではありますが、一人ひとりに合ったプログラムにて活動していただけるよう、環境調整をしていきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				31	1	0	0	1人に対して1人の先生が必ずついていたり、サポートにすぐ他の先生が対応してくれるので不足や過剰だと思ったことはないです。				ありがとうございます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※ 1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				23	6	3	0	階段が急でこわいと思います。子供も戸惑うことなく利用しているのでわかりやすい感じます。				階段は極力お子さんには使うことを減らし、2階に上ることがある際には十分に安全に配慮していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。				28	3	1	0	基本的に清潔です。リラックスした気持ちで活動できる部屋作りかなと感じます。				ありがとうございます。			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。				32	0	0	0	子供ごとに専門的な療育の中で、好きなキャラクターを支援の中にマメに取り入れてくれています。1人1人の理解につとめてくれていると思います。				ありがとうございます。			
	6	事業所が公表している支援プログラム(※ 2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。				31	0	0	1								
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。				32	0	0	0	子供の今の状況に合わせて目標を設定して支援計画を作成していただいています。面談の他に日々の会話から必要なことをくみ取って計画に入れ込んでくれています。				ありがとうございます。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。				31	0	0	1								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。				31	1	0	0								
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。				31	0	0	1	季節の活動や野外活動もあるから。プログラムが飽きないよう毎回違うもので活動しています。前回楽しく取り組みたり、もっとやりたいう要望にも対応してくれます。				ありがとうございます。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				5	7	7	13	他の児童クラブなどとの交流はないですが、少人数でのプログラムがあるので他学年の子とも一緒に利用することがあります。				今後も引き続き、小集団活動を取り入れています。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。				32	0	0	0	最初に文書と口頭で細かく説明をしていただきました。				今後も丁寧に説明していきます。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。				31	0	1	0								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				3	20	0	9	ペアトレなどはないですが、個別相談で対応の仕方や情報をもらうことはあります。				今年度はペアレントトレーニングを企画させていただきました。今後もペアトレの開催を検討しております。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。				31	1	0	0	毎回の利用後にその日の報告とともに近況を話したりしています。				今後も支援の様子、近況等のお話をさせていただければと思います。			
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。				31	1	0	0	定期的な面談や、個別相談などでも助言をいただいています。				今後も引き続き、家族支援等ご利用いただければと思います。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。				30	2	0	0	どの先生にお話ししても、一緒に喜んで悩んだりして子供に寄り添ってくれています。				今後も引き続き、保護者様、利用者様に寄り添い、取り組んでいきたいと思っています。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				15	5	3	9	回数がもう少しあってもいいと思います。保護者同士の交流はありませんが、兄弟で集団プログラムに参加し活動しています。				ペアレントトレーニングを今後も開催していきたいと思っています。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明が、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか。				29	2	0	1	個別相談があることも説明してもらっていて利用しています。迅速に日程を設定して面談してもらいました。				今後も、いつでもお話しさせていただきたいと思しますので、ご利用ください。			
	20	こどもや保護者などの意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。				31	1	0	0	情報の伝達もマメで、子供とも会話から意思の疎通をはかろうとつとめていると思います。				ありがとうございます。			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				29	3	0	0	各SNSなどを通じて予定や支援の内容を発信しています。活動のおたよりは毎回拝見しています。				これからも活動の内容などをSNSを通して発信していきたいと思っています。			
	22	個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。				30	0	0	2	写真の顔も隠したりなど配慮していました。				今後も個人情報の取り扱いには十分気を付けてまいります。			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				29	1	0	2	面談の際に、緊急マニュアルや避難場所の説明を受けました。				今後も丁寧な説明を心掛けて緊急時に備えています。			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				23	3	0	6	避難訓練や災害の時に便利なものを工作したりと子供たちにもわかりやすくプログラムされていました。				今後も災害や緊急時に備えて知識等を備えられるよう、支援に取り入れていきます。			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				28	2	0	2								
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				25	0	0	7								
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。				32	0	0	0	どの先生にも安心して接する様子が見られます。				ありがとうございます。			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。				31	0	0	1	毎回利用を楽しみにしています。利用後も活動で楽しかったことを家でもやってみたいと取り組んでいます。今日ほどの先生が楽しみにしているようです。				今後も期待に応えられるよう、頑張っていきます。			
	29	事業所の支援に満足していますか。				32	0	0	0	子供だけでなく私も勉強になることが多くて参考にしています。なにより先生方の明るさに私たちも元気をもらえています。ありがたく利用させてもらっています。どのスタッフさんも子どもの成長に寄り添った支援をしてくださるので満足です。				ありがとうございます。			